

5. 東海（地域別調査機関：（株）UFJ総合研究所）

（-：回答が存在しない、：主だった回答等が存在しない）

分野	景気の現状判断	業種・職種	判断の理由	追加説明及び具体的状況の説明
家計 動向 関連	良く なっている やや良く なっている	スーパー（店長）	単価の動き	・新企画が当たり、客単価が上昇している。客は欲しい物に対してはお金を使う傾向が顕著になっている。
		スーパー（総務担当）	来客数の動き	・来客数が増加し売上は増えたが、相変わらず安い商品しか売れない。
		コンビニ（エリア担当）	それ以外	・客の購買意欲が高まっており、売上は前年比100%をクリアしている。
		コンビニ（エリア担当）	来客数の動き	・土日の来客数が増加しており、土日の売上は前年比で少し回復している。 ・客単価は前年と比較すると回復していないが、3か月前と比べると少し上昇している。
		住関連専門店（店員）	販売量の動き	・夏物の動きが好調で、前年と比べて特に高単価商品が売れており、売上は対前年比で伸びている。財布のひもが緩んでいる。
		その他専門店【雑貨】（店員）	来客数の動き	・来客数、レジ客数とも対前年比で増加している。
		都市型ホテル（スタッフ）	販売量の動き	・研修や宴会の利用件数が増え、レストランの利用も対前年比で増加している。
		通信会社（企画担当）	販売量の動き	・特別なキャンペーンを行っていないが、新規契約者数が増加している。値上げしたにもかかわらず、契約増のサービスもある。
		その他サービス【語学学校】（経営者）	販売量の動き	・サッカーワールドカップの特需が多少ある。
	住宅販売会社（従業員）	販売量の動き	・住宅受注量は増加している。	
	変わらない	商店街（代表者）	お客様の様子	・来客数、購買意欲ともに変化がない。
		商店街（代表者）	販売量の動き	・客は相変わらず必要な物以外は買わない。
		商店街（代表者）	販売量の動き	・単価、買物内容は安定してきている。
		商店街（代表者）	競争相手の様子	・スーパーに対抗するため外国製品を扱うようになったが、500～600円の単価では思うように売上が伸びない。
		一般小売店【土産】（経営者）	来客数の動き	・4月以降週末の観光客は増加しているが、逆に平日は落ち込む傾向が出ている。団体客から個人客への移行が一層進んでいる。
		一般小売店【薬局】（経営者）	販売量の動き	・客は相変わらず必要な物以外は買わない。
百貨店（企画担当）		販売量の動き	・在庫一掃セールを前に客が買い控えているうえに、肌寒い日が続き、夏物の動きがストップしている。	
百貨店（外商担当）		お客様の様子	・催事の勧誘をしても、以前なら来てくれていた人から、買えないから行かないといった答えが返ってくる。	
百貨店（売場主任）		お客様の様子	・明らかにパーゲンの下見といった客が多く、購買意欲が依然として感じられない。	
スーパー（経営者）		お客様の様子	・チラシ広告による競争が一層激しくなり、客は曜日毎に買う店を決めている。固定客へと移行させるのは難しい。	
スーパー（店長）		販売量の動き	・来客数は前年と変わらないが、買い上げ点数、客単価とも低迷が続いている。 ・食品添加物問題や日付改ざん問題等、食品に対する不信感が募り、回復の兆しがみられない。	
スーパー（店員）	販売量の動き	・単価の安い定番商品はいつもの倍以上売れており、客は安い物を求めている。		
スーパー（仕入担当）	単価の動き	・客単価は対前年同月比ではやや下回っているが、2～3か月前と比べるとほぼ同水準で推移している。 ・来客数は対前年比ではやや上回っているが、2～3か月前と比べると変化はない。		

分野	景気の現状判断	業種・職種	判断の理由	追加説明及び具体的状況の説明
		コンビニ（エリア担当）	単価の動き	・来客数の増加傾向、客単価の低下傾向に変化はない。
		衣料品専門店（企画担当）	来客数の動き	・単価の下げ止まりはみられるものの、来客数が増加してこない。店のイベントを増やしているが、来客数増加に結びつかない。
		衣料品専門店（販売企画担当）	お客様の様子	・店頭での物の流れがそれほど良くなく、客の動きは鈍い。
		家電量販店（経営者）	お客様の様子	・併設の100円ショップは売れているが、家電の高単価商品は売れず、慎重な買物態度が続いている。
		家電量販店（店員）	単価の動き	・競争による単価の下落傾向が続いている。
		自動車備品販売店（経営者）	単価の動き	・セールスにより客が増え、予算を何とかクリアしているが、客単価は相変わらず低い。
		乗用車販売店（経営者）	お客様の様子	・3か月前はほぼ前年並みであったが、今まで新車を購入していた客が中古車に流れており、販売量、単価とも約20%上昇している。
		乗用車販売店（従業員）	お客様の様子	・サッカーワールドカップの試合時間帯の来客数は減少しているが、平日の試合のない時間帯は来客数が増加してきている。
		その他小売〔貴金属〕（経営者）	単価の動き	・客の購買意欲はやや改善しているが、単価は低下傾向にあるため、全体の売上は減少している。
		高級レストラン（スタッフ）	単価の動き	・平均単価、客単価が相変わらず低迷している。サッカーワールドカップの影響もある。
		スナック（経営者）	来客数の動き	・サッカーワールドカップや飲酒運転の罰則強化の影響で、来客数が減少している。
		観光型ホテル（スタッフ）	単価の動き	・飲料、土産物等の付帯売上の宿泊客当たりの平均単価が低下している。
		都市型ホテル（スタッフ）	競争相手の様子	・業績の良いホテルと、非常に悪いホテルが混在している。
		タクシー（営業担当）	来客数の動き	・サッカーワールドカップの影響で、試合のある日の夜は特に人出が少ない。
		通信会社（社員）	販売量の動き	・使用量の動きに大きな変化はない。
		通信会社（営業担当）	販売量の動き	・販売台数に特に大きな伸びはなく、高機能商品は価格が高いためなかなか売れない。
		通信会社（営業担当）	単価の動き	・客への値引きのため単価が低下している。
		テーマパーク（職員）	来客数の動き	・お土産の購入態度をみていると、客は単価が安くて気軽な物を求めている。
		テーマパーク（職員）	来客数の動き	・土日の来客数は多いが、全体的にはあまり変化がない。
		ゴルフ場（経営者）	来客数の動き	・来客数は、対前年同期比で増加しているが、土日祝日は減少している。
		ゴルフ場（企画担当）	来客数の動き	・来客数は横ばいである。
		パチンコ店（店長）	来客数の動き	・一時的ではあるが、サッカーワールドカップの影響で、来客数が減少している。
		その他レジャー施設〔劇場〕（職員）	単価の動き	・来客数はそれほど変わらないが、値引きしているため客単価の低下が著しい。
		美容室（経営者）	お客様の様子	・相変わらず客の回転が悪い。
		住宅販売会社（従業員）	それ以外	・入居者の自己破産が相変わらず減少しない。
		住宅販売会社（業務担当）	販売量の動き	・対前年同月期とほぼ同じ販売量に戻ってきている。
	やや悪くなっている	商店街（代表者）	お客様の様子	・展示会等イベントを開催しても、なかなか購入に結びつかない。
		一般小売店〔結納品〕（経営者）	お客様の様子	・3か月前は客の購買意欲は少し改善傾向にあったが、ここ1か月は沈滞ムードに陥っている。
		一般小売店〔酒〕（経営者）	販売量の動き	・飲酒運転の罰則が厳しくなったため名古屋中心街の飲食店の来客数が減少し、飲食店向けの販売量が大きく減少している。

分野	景気の現状判断	業種・職種	判断の理由	追加説明及び具体的状況の説明
		百貨店（企画担当）	販売量の動き	・サッカーワールドカップのテレビ観戦の影響が、来客数、購買客数、客単価ともに大幅に低下している。
		百貨店（企画担当）	来客数の動き	・サッカーワールドカップの日本戦がある日を中心に、来客数が確実に減少している。
		百貨店（経理担当）	販売量の動き	・販売数量が増加せず、低迷している。
		百貨店（販売促進担当）	販売量の動き	・来客数は前年を上回っているが客単価が低下しており、売上がついてこない。 ・婦人服、雑貨、食品は好調だが、紳士服、宝飾品、リビングが不振で前年を下回っている。
		百貨店（売場担当）	販売量の動き	・来客数は増加しているが、客の購買点数と購入率が低下している。
		スーパー（店長）	来客数の動き	・サッカーワールドカップの影響で来客数が激減している。
		スーパー（店員）	販売量の動き	・先月まで売上は前年を上回っていたが、今月は前年を下回っている。売上、来客数ともに悪くなっている。
		コンビニ（経営者）	お客様の様子	・飲酒運転の取り締まり強化とサッカーワールドカップの影響で飲食店の売上が激減し、影響を受けている。
		コンビニ（店長）	来客数の動き	・例年より雨の日が少なく、売上、来客数は前年より多少良いが、雨の日は売上が前年と比べて極端に減少する。
		衣料品専門店（経営者）	お客様の様子	・相変わらず低迷が続いている。
		家電量販店（店員）	販売量の動き	・天候の影響もあり、販売量が減少している。
		乗用車販売店（経営者）	来客数の動き	・大規模な展示会を行ったが、思った以上に客の動向が芳しくなく、売上が増加していない。
		乗用車販売店（従業員）	単価の動き	・単価が低下している。
		乗用車販売店（従業員）	販売量の動き	・販売実績は対前年比85%となり、マイナスの流れを断ち切れない。
		乗用車販売店（従業員）	お客様の様子	・サラリーマンの客も自営業の客も、とにかく苦しいという話をしている。
		住関連専門店（営業担当）	お客様の様子	・持ち家住宅の購入は減少傾向にある。
		高級レストラン（経営者）	販売量の動き	・低単価のランチは売れ行きが良いが、客単価は依然として低く、来客数も変化がないため、売上も増加してこない。 ・法人利用が相変わらず低調で、そのうえサッカーワールドカップの影響も大きい。
		旅行代理店（経営者）	来客数の動き	・来客数が減少している。
		旅行代理店（従業員）	来客数の動き	・例年だと夏休みに向け客が増加してくる時期であるが、思ったほど伸びていない。
		タクシー運転手	販売量の動き	・サッカーワールドカップの試合のある日は人通りが少なくなり、売上が落ち込んでいる。
		美容室（経営者）	来客数の動き	・対前年比でも3か月前と比較しても、来客数はかなり減少している。
		その他サービス 〔パチンコ機器 製造販売〕（エリア担当）	販売量の動き	・サッカーワールドカップの影響で、売上が減少している。
		設計事務所（職員）	お客様の様子	・これまでになく悪い状況である。
		その他住宅投資の動向を把握できる者〔室内装飾業〕（経営者）	販売量の動き	・販売量が減少傾向にあるうえに、1件あたりの工事内容も小さくなっている。
	悪くなっている	商店街（代表者）	販売量の動き	・5月の連休以降現在まで、販売量は極端に減少している。
		スーパー（経営者）	競争相手の様子	・近隣で大型スーパーの新装開店があり、周囲のスーパーは一層安売り競争をしているが、中小の小売店への影響が特に大きい。

分野	景気の現状判断	業種・職種	判断の理由	追加説明及び具体的状況の説明
		コンビニ（店長）	お客様の様子	・飲酒運転の罰則強化とサッカーワールドカップの影響で、得意先の飲食店の売上が極端に悪くなっており、その影響を受けている。
		衣料品専門店（店員）	単価の動き	・バーゲン前の買い控えだけでなく、客は全体的に買物を控えている。
		高級レストラン（スタッフ）	来客数の動き	・売上が急減している。サッカーワールドカップや飲酒運転の罰則強化の影響がある。
		一般レストラン（経営者）	お客様の様子	・サッカーワールドカップで経済効果のある業種もあるが、当業界は夜のテレビ中継の時間帯が悪く、最悪の状態である。
		バー（経営者）	来客数の動き	・サッカーワールドカップの影響で、来客数の減少が激しい。
		スナック（経営者）	来客数の動き	・飲酒運転の罰則強化とサッカーワールドカップの影響で、前年よりかなり売上、来客数ともに減少している。
		タクシー運転手	来客数の動き	・サッカーワールドカップの影響で、客足が遠のいている。
		タクシー運転手	お客様の様子	・サッカーワールドカップの影響で、夜の客が激減している。
		美容室（経営者）	競争相手の様子	・例年6月は悪いが、今月はそれ以上に客が少ない。
		設計事務所（営業担当）	競争相手の様子	・競争がますます激しくなっている。
		住宅販売会社（企画担当）	販売量の動き	・チラシ広告を出しても、ほとんど客が来ない。来客数が激減している。
企業動向関連	良くなっている やや良くなっている	-	-	-
		食料品製造業（経営者）	受注量や販売量の動き	・メーカー、問屋、スーパー、生活者のいずれにおいても、商品の流れが弱い。
		鉄鋼業（経営者）	受注量や販売量の動き	・販売量は徐々に増加している。
		金属製品製造業（従業員）	受注量や販売量の動き	・受注量が一部増加に転じている。
		一般機械器具製造業（販売担当）	取引先の様子	・受注する確率の高い引き合い件数が増加してきている。
	変わらない	輸送用機械器具製造業（統括）	受注量や販売量の動き	・単価は依然として厳しいが、受注量が少しずつ増加してきており、採算が取れる見込みが出てきている。
		建設業（企画担当）	受注量や販売量の動き	・新規の大型工事物件は依然としてなく、全般的に工事規模が小さくかつ受注量も少ないままであるが、中型工事物件が少し出始めている。
		建設業（総務担当）	取引先の様子	・企業がお金を使い始めている。
		金融業（従業員）	取引先の様子	・店舗拡大や新店舗オープン企業がやや増加している。
		食料品製造業（経営者）	受注価格や販売価格の動き	・製品の価格を下げないと売れない状況が続いている。
		食料品製造業（企画担当）	受注価格や販売価格の動き	・販売価格の低下傾向が続いているが、販売量は変わらない。
		パルプ・紙・紙加工品製造業（総務担当）	受注量や販売量の動き	・通常は月末近くになると受注量、販売量が増加するが、今月はその兆しが無い。
		化学工業（企画担当）	受注量や販売量の動き	・国内向けは狂牛病等の影響も解消してきたが、海外向けは円高の影響が出てきつつあり、相殺している。
		一般機械器具製造業（経理担当）	受注量や販売量の動き	・価格競争が厳しく、受注量は依然として伸び悩んでいる。
		電気機械器具製造業（経営者）	受注量や販売量の動き	・国内販売は、監視カメラなどの需要増で販売量にやや回復の兆しがあるが、輸出は欧州をはじめとして不振が続いている。
		電気機械器具製造業（従業員）	受注量や販売量の動き	・工業用ミシンの国際展示会への来場者は3年前に比べて25%増加したが、その後も国内受注は伸びていない。
		電気機械器具製造業（従業員）	取引先の様子	・客の在庫減少により受注が上向くと考えていたが、製品の動きがない時期を利用して客は生産を海外にシフトさせている。

分野	景気の現状判断	業種・職種	判断の理由	追加説明及び具体的状況の説明	
		電気機械器具製造業（営業担当）	受注量や販売量の動き	・国の補助政策の影響で継続して工事受注できている。	
		輸送用機械器具製造業（総務担当）	受注量や販売量の動き	・受注残の改善がない。	
		輸送業（エリア担当）	取引先の様子	・競争が激化しており、客からの値下げ要求やサービス向上要求が非常に厳しい。	
		金融業（融資担当）	受注価格や販売価格の動き	・取引先の受注単価が低いため、単価の低い仕事をとらないと売上が減少する。	
		経営コンサルタント	取引先の様子	・土地取引件数の減少が続いている。	
		公認会計士	取引先の様子	・多くの顧問先企業で業績悪化が止まらず、業績が上向いている企業は極めて少ない。	
		税理士	取引先の様子	・顧問先企業の業績はあまり改善していない。	
	やや悪くなっている		窯業・土石製品製造業（経営者）	取引先の様子	・製造ラインを一時的に停止する会社が、取引先で出てきている。
			非鉄金属製造業（社員）	競争相手の様子	・倒産や事業縮小する同業者が目立っている。
			一般機械器具製造業（経理担当）	取引先の様子	・新規の設備投資をせず、修理で済ます企業が増えている。
			輸送業（エリア担当）	受注量や販売量の動き	・トラックへの積み込み台数が10%ほど落ち込んでいる。5%の運賃値引を要請する企業が2社ある。
			新聞販売店〔広告〕（店主） その他サービス業〔社会労務士〕（経営者）	受注量や販売量の動き 取引先の様子	・チラシ広告数はやや減少している。 ・顧問先の中小企業で、特に間接部門での人員削減、リストラが進んでいる。
	悪くなっている		窯業・土石製品製造業（経営者）	受注量や販売量の動き	・陶磁器の出荷は和陶器、洋食器ともに大幅減少している。取引企業が東南アジアへ工場移転した影響が大きい。
非鉄金属製品製造業〔鋳物〕（経営企画）			受注価格や販売価格の動き	・価格の下落とともに数量が減少している。一段と市場が縮小し、競争が激しくなっている。	
輸送業（エリア担当）			競争相手の様子	・荷物量が対前年比で日を追う毎に減少している。	
雇用関連	良くなっている	-	-	-	
	やや良くなっている	民間職業紹介機関（エリア担当）	求人数の動き	・求人数はやや増加している。	
	変わらない	人材派遣会社（支社長）	求人数の動き	・事務職員の求人が減少している。	
		職業安定所（所長）	求職者数の動き	・新規求職者数の増加が続いている。	
		職業安定所（職員）	求人数の動き	・求人数は対前年同月比で減少を続けているが、求職者数は対前年同月比で減少傾向がみられない。	
		職業安定所（職員）	求職者数の動き	・60歳前後の夫婦で、縫製、宅配便、リフォーム、商店等といった自営業を廃業し、求職を申し込む人が増えている。	
		職業安定所（管理部門担当）	求職者数の動き	・有効求職者数が引き続き増加しているため、有効求人倍率が低下している。	
		民間職業紹介機関（職員）	求人数の動き	・求人数はほぼ横ばいである。	
	やや悪くなっている	人材派遣会社（社員）	求職者数の動き	・人員削減を進める企業が増加しており、派遣の新規受注が落ち込んでいる。	
		人材派遣会社（社員）	求人数の動き	・求人状況は変わらないが、派遣料金の値下げや同料金でより能力の高い人を要求する企業が増えている。	
		新聞社〔求人広告〕（担当者）	求人数の動き	・求人広告の申込は対前年同月比で77.5%で、3か月前と比べて3ポイント以上のマイナスとなっている。	

分野	景気の現状判断	業種・職種	判断の理由	追加説明及び具体的状況の説明
		職業安定所（職員）	求人数の動き	<ul style="list-style-type: none"> ・有効求人倍率は3か月前に比べて0.04ポイント、前年同月比で0.17ポイント下落している。特に建設業において、公共事業や民間設備投資の減少により、求人数が半減している。 ・労働市場全体では、人件費抑制のため、正社員からパート、派遣、請負へと切り替える動きが加速している。
	悪くなっている	新聞社〔求人広告〕（担当者）	求人数の動き	<ul style="list-style-type: none"> ・パートやアルバイト、業務請負等の求人広告の申込件数は対前年比で65.7%、3か月前と比較しても77.0%と、一段と減少している。過去5年間で最低の水準であり、雇用情勢は下げ止まりから再び悪化に転じている。